



いるま

市議会

だより

3月定例会

| | |
|--------------|------|
| 条例など42議案等を審議 | 2 P |
| 定例会議決結果 | 3 P |
| 令和5年度予算 | 4 P |
| 15名が一般質問 | 7 P |
| 入間みらい議会開催 | 15 P |
| 議会人事 | 16 P |

No.202

令和5年3月
定例会号
2023年5月1日発行



- 専決処分 1 件 ◀
- 条例 18 件 ◀
- 一般議案 2 件 ◀
- 令和 4 年度補正予算 8 件 ◀
- 令和 5 年度当初予算 8 件 ◀
- 委員会提出議案 2 件 ◀
- 議員提出議案 2 件 ◀
- 請願 1 件 ◀

第 1 回 定例会

👉 42 議案等を審議

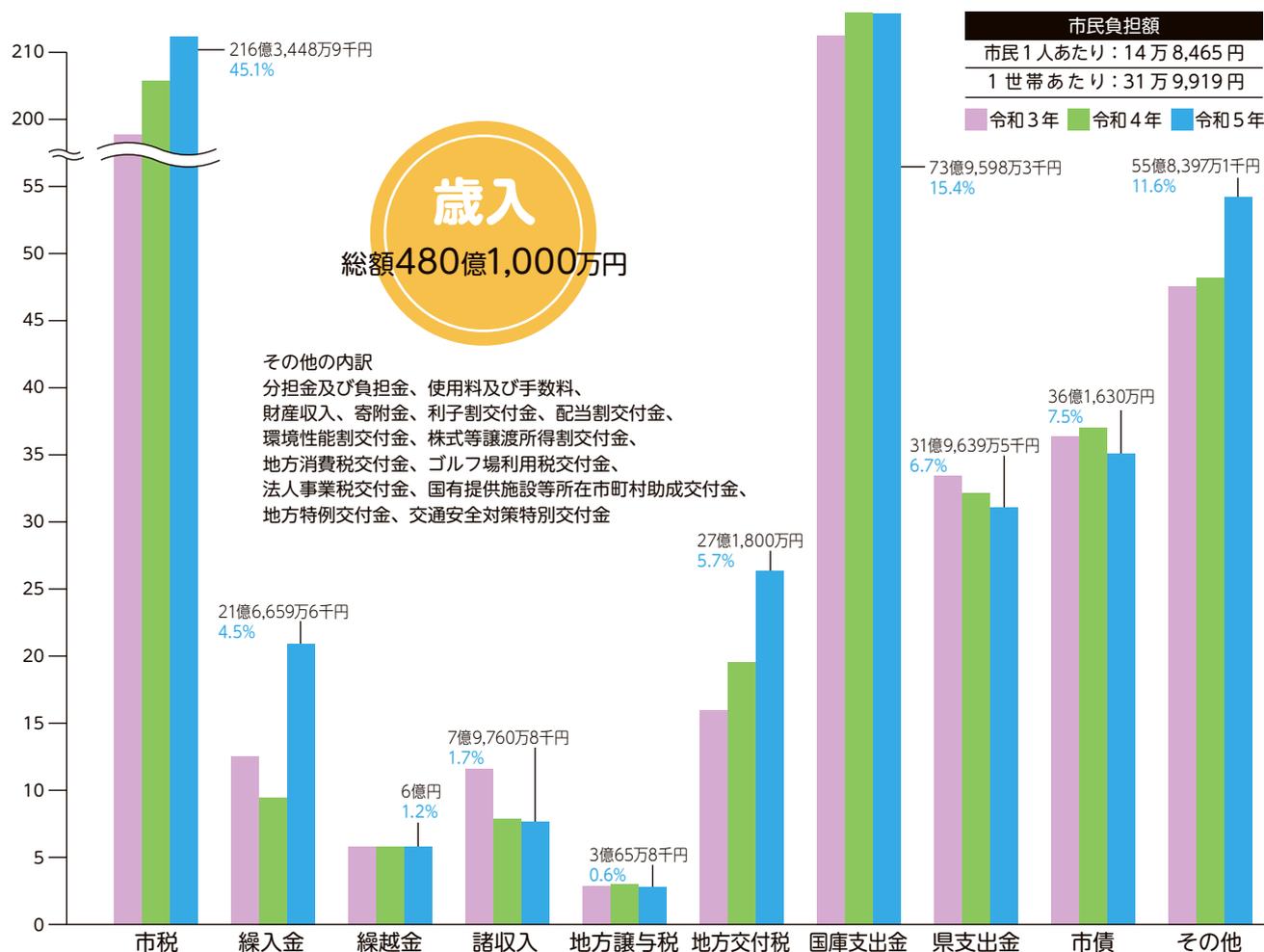
条 例

| | | |
|----------------------------|--------------------------------|---|
| 新規 条例 | 議案第 3 号 | 入間市職員の配偶者同行休業に関する条例 |
| | 委員会提出 議案第 2 号 | 入間市議会の個人情報保護に関する条例 |
| 廃止 条例 | 議案第 9 号 | 入間市市民会館の設置及び管理条例を廃止する条例 耐震診断で倒壊の危険性があると判定され、周辺のまちづくりに資する施設として、新たな場所へ移転新設と整備方針を定めたので、現在の市民会館を廃止するもの。 |
| 一 部 改 正 条 例 | 議案第 2 号 | 入間市手数料条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 4 号 | 入間市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 5 号 | 市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 6 号 | 入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 7 号 | 入間市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 8 号 | 入間市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 10 号 | 入間市印鑑条例及び入間市手数料の特例に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 11 号 | 入間市消防団条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 12 号 | 入間市商工業振興条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 13 号 | 入間市都市公園条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 14 号 | 入間市水道事業給水条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 15 号 | 入間市児童福祉審議会条例等の一部を改正する条例 |
| | 議案第 16 号 | 入間市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 17 号 | 入間市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| | 議案第 18 号 | 入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例 現在、加算額の 12,000 円を含め、420,000 円を支給している出産育児一時金の額を引き上げ、令和 5 年 4 月 1 日より、総額 500,000 円の支給とする改定を行うもの。 |
| | 議案第 19 号 | 入間市博物館条例の一部を改正する条例 |
| 委員会提出 議案第 1 号 | 入間市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 | |

※色の付いた議案は賛否が分かれた議案となります。

令和5年度予算の内容をチェック

自主財源263億6,166万4千円 (54.9%) 依存財源216億4,833万6千円 (45.1%)



令和5年度入間市特別会計予算一覧表

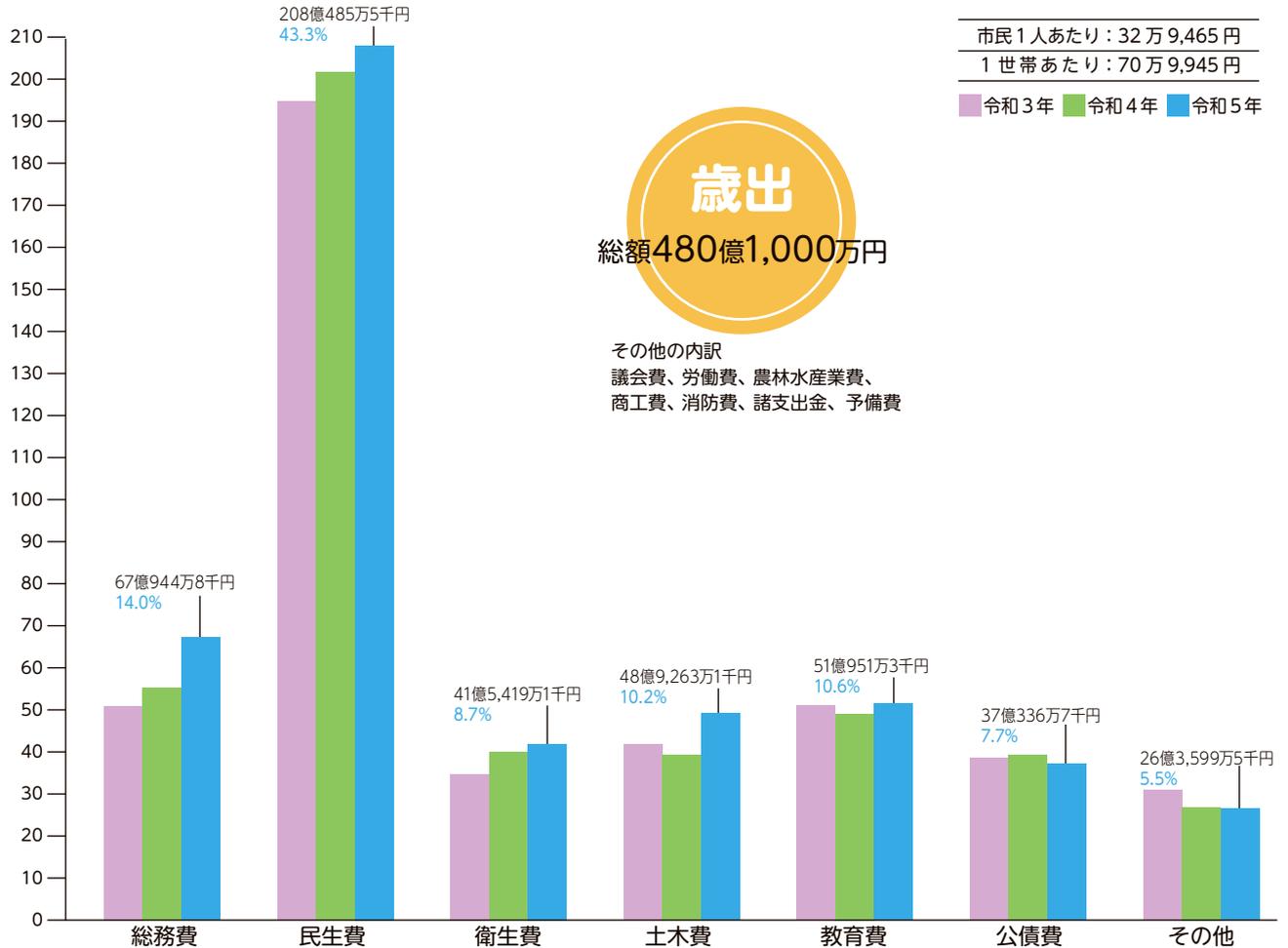
| 会計名 | 予算額 | 前年度比較増減率 |
|--------------------|----------------------|-------------|
| 国民健康保険特別会計 | 144億7,705万9千円 | 2.4% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 23億7,671万4千円 | 4.1% |
| 介護保険特別会計 | 120億7,430万9千円 | 0.9% |
| 入間市駅北口土地区画整理事業特別会計 | 18億5,225万7千円 | 121.0% |
| 扇台土地区画整理事業特別会計 | 4億5,803万4千円 | 6.0% |
| 総額 | 312億3,837万3千円 | 5.4% |

一般会計 予算

令和5年度の一般会計予算は、前年度対比6.7%増の480億1,000万円となり、市長から施政方針として、以下の趣旨の提案理由が説明されました。

歳入において市税の増額を見込み、新たな財源の確保策として企業版ふるさと納税を計上し、適債事業には市債を最大限活用することで必要額の確保を図りました。歳出では、市民サービスに著しい低下が生じないよう配慮した上で、既存事業のゼロベースでの見直しを図りつつ、緊急性と重要性に応じた優先順位により、事業選択を行い、経費の調整を図りました。

令和5年1月1日現在 人口145,721人 世帯数67,625世帯



総務費

新庁舎等整備事業
2億7,892万5千円

【事業概要(要約)】入間市公共施設マネジメント事業計画に基づき、耐震性を満たしていない市庁舎A・B棟を建替え、C棟は改修を行う。

施設改修事業(地区センター費)
2億6,406万7千円

【事業概要(要約)】入間市公共施設マネジメント事業計画等に基づく事業で、9つの地区センター及び4つの地区センター分館を地域拠点施設として運営するため、計画的な設備改修を行う。

民生費

高齢者の外出モチベーション向上推進事業
1,496万円

【事業概要(要約)】高齢者の外出モチベーションを高めるためにデマンド型交通を活用し、外出機会や手段を確保するための実証運行を行う。

衛生費

带状疱疹予防接種費用助成事業
384万8千円

【事業概要(要約)】予防接種費用の一部を助成することで、带状疱疹とそれに伴う合併症による神経痛等の予防の支援を行う。

土木費

西武地区学校統合に伴う交通安全対策事業
2,640万円

【事業概要(要約)】西武地区の中学校統合に向け、子ども達が安心して通学できるよう、市道幹47号線にガードパイプ設置工事を行う。

教育費

旧須須銀行復元修理事業
1億1,364万1千円

【事業概要(要約)】老朽化により建物内外の劣化が著しいことから、文化財として保護を図るとともに、安全に活用できる施設とするための復元修理工事を実施。

※一般会計予算の概要より

市民フォーラム

反対

一般会計
討論

次の3点において賛同できない。1点目は、地区センター化に伴う令和10年度での分館の廃止である。地区センターの中間への移転新築、統廃合による空き建物への地域施設の設置まで廃止を待つべきである。

2点目は、新庁舎整備事業である。1グループのみの応募が延床面積、デザイン、C棟の改修について付帯条件をつけて採択された。公募のやり直しを考えるべき。

3点目は、旧黒須銀行の復元修理工事である。総事業費は約2億6600万円である。しかし、文化財としての価値が明確でない。賑わいの創出も理由にはならない。

令和5年度一般会計・特別会計の予算について賛成・反対の討論をしました。各会派の討論の概要を報告します。

討論の詳しい内容は、市ホームページの「会議録検索」ページでご覧いただけます。(本定例会の会議録は次回定例会開会までに掲載する予定です)

公明党入間市議団

賛成

一般会計
討論

公共施設マネジメント事業計画に基づき、地区センター化に伴う4分館の移行や学校統廃合、耐震性に欠ける市庁舎・市民会館の新たな整備に向けて本格的に動き出す年。影響のある市民への丁寧な説明を望む。①地区センター職員の防災士取得事業②プラスチック一括回収の実施③民生委員なり手不足に対する対応④旧黒須銀行復元修理工事の実施は大いに評価。加治丘陵の今後について自然保護の在り方も含めて、地権者と丁寧な協議を要望。外出モチベーション向上事業は検証結果を分析し、今後のデマンド交通に生かすことを要望し賛成。

日本共産党入間市議団

反対

一般会計
討論

入間市では新年度から、食材費の高騰を理由に、学校給食費を数日の提供しかない8月分を徴収することになっている。現在多くの自治体で学校給食を無償にする方向が進んでおり、子育て支援を行う自治体としての姿勢を示している。入間市の負担増は、こうした方向に真っ向から反するもの。多くの自治体が実施している給食無償化を入間市も検討すべき時に、負担増を行うというのは、入間市は子育て支援を行う意思はないと取られても仕方がない。自治体として子育て支援に本気で取り組む姿勢を見せるべきであり、本予算に反対。

日本共産党入間市議団

反対

特別会計
討論

(後期高齢者医療特別会計)
反対の理由の一点目は、これまで医療費1割負担だった人が、2割負担になる予算になっていること。一定の所得以上であるとしているが、単身世帯所得200万円程度、2人世帯以上350万円の方も引き上げとなっており、負担を求めるには、所得が低すぎる。
二点目として、後期高齢者医療制度の問題は、年齢で医療に差別を持ち込む、世界でも例のない制度であること。高齢になったら負担を軽くするのが当たり前。そして、またさらなる来年度の引上げには反対。

自由民主党入間市議団

賛成

一般会計
討論

令和5年度一般会計予算案は、480億1千万円で、当初予算としては過去最大規模。これを「第6次入間市総合計画・後期基本計画」に掲げた施策や、SDGs未来都市として将来を見据えた取組を着実に進めていく予算であると理解。賛成の理由としては、こども・子育て支援の充実が図られること、都市基盤整備が進められること、公共施設マネジメント事業の推進が図られること、SDGsの推進に資するアプリ、EVの活用が進められることなどが挙げられる。三方よしの街づくり具現化に向けて、各施策のより一層の推進が図られることを期待し、賛成。

賛成

公明党入間市議団

特別会計討論

(後期高齢者医療特別会計)

平成20年に創設された後期高齢者医療制度は公費負担5割、現役世代4割の後期高齢者支援金で支えている。団塊の世代が75歳以上を迎えるなか、現役世代の負担上昇を抑えるため、令和4年10月から一定の負担能力のある方のご負担を1割から2割としたもの。3年間は月3,000円増までに抑える経過措置が設けられるなど対象者への配慮も講じられ、国民皆保険制度を維持していくためのものと理解。レセプト点検など医療費適正化の対策を講じていただくことを要望し、賛成。

賛成

自由民主党入間市議団

特別会計討論

(後期高齢者医療特別会計)

予算案は前年度対比4.1%増の23億7,671万4千円。団塊の世代の加入などで被保険者数の増加に伴うものと理解。歳入では、市が徴収した保険料、保険基盤安定繰入金、及び広域連合の運営に関わる事務費繰入金が主。歳出では保険料等を埼玉県後期高齢者医療広域連合へ納める納付金や、保険料の徴収事務に関わる費用などを計上。いずれも県内全域での積算に基づくもので、一自治体に裁量の余地はないものと理解。対象者は高齢者であることから、引き続き丁寧な対応を図ることを要望し、賛成。



一般質問

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。

一
般
質
問



分館施設の廃止
市民会館整備

野口 哲次 議員

質問 地区センター化に伴う4つの分館は令和10年度をもって廃止となる。その理由は将来世代に負担を残さないためとのこと。分館を耐用年数の範囲内で使うとした場合の負担とは。

市長 令和5年度からの4分館の年間ランニングコストの合計は約6,097万円と推計。

質問 離れた地区センターに行けない人がいる。地域によっては地区センターが中間地点に移転されるまで分館を維持した方が良いと考える。ご所見は。

市長 近くに施設があることは望ましいが、市の財政上難しい。

質問 本庁に近い4つの地区センターに新たに支所を設けている。人件費だけでも1支所2千万円以上要する。地域の拠点維

持と支所とどちらを優先するのか。

市長 支所機能は地区センターに必要なものである。

質問 市民会館は費用対効果の観点から耐震改修ではなく入間市駅前側留保地へ移転新設となった。しかし、新設に相当な年数を要すると文化活動への影響が大きい。年数によっては耐震改修と将来の統廃合による空き公共用地への移転を検討した方が良い。駅前側留保地への移転新設の用途は。

市長 留保地利用計画を検討している。



閉鎖されている市民会館



公用車のEV化について 学童保育室について

吉田 賢一 議員

- ・ **質問** 今後の入間市住宅用再生可能エネルギー活用設備設置費補助制度について。
- ・ **環境経済部長** 令和5年度は、太陽光発電システム、定置用リチウムイオン蓄電池、V2Hシステムに補助する予定。
- ・ **質問** 公用車のEV化について。
- ・ **市長** 二酸化炭素を排出しない。地球に優しい。走行コストの低さがメリット。
- ・ **質問** EVの充電設備の設置は全台にいないのではないかと。
- ・ **市長** 使用状況に最適な専用充電器を、実施設計業務の中で検討していく。
- ・ **質問** 災害におけるEVの活用について。
- ・ **市長** 地区センターや学校等の避難所に派遣し、外部給電器などを接続して市民のために活用していく。

質問 水道施設の耐震状況について。

上下水道部長 浄水場をはじめ、8か所の水道施設全てが耐震性能を有する。

質問 民間委託と公設の学童保育室が同じ金額なのにサービスの違いがあるのでは。

こども支援部長 第三者評価等を行い、保護者と子どもたちの満足度やコストなどを検証し、今後のありかたについて検討し、委託業者の様々な優れた点やノウハウを、公設公営の運営にも活用していきたい。

【その他】 防災訓練について質問



EV化した公用車



災害対策・てんかん発作時ブコラム投与

永澤 美恵子 議員

- ・ **質問** 関東大震災より100年の節目を迎える本年、いざという時に備えるために新たな入間市地域防災計画をもとに、自助・共助に対する市民の意識改革が重要である。
- ・ ①防災訓練の総括②自治会加入者が6割の中での自主防災会の問題点③地域の特性に合わせて自主防災会の育成を④受援計画を策定し、災害時の職員の行動計画を明確にし、頼れる入間市の構築を。
- ・ **危機管理監** ①参加者は3500人増加。避難所開設訓練の効果を今後も生かす。②共助機能の低下を懸念③地区センター職員が防災士資格を取得し、地域に合わせた自主防災会育成を目指す。④業務継続計画と共に策定し職員の日ごろの訓練の充実を図る。
- ・ **質問** てんかん発作時に有効なブコラム

が薬事承認され、児童生徒の発作時に教職員も投与できるようになった。学校全体の研修体制や対応は。

教育長 保護者からの要請を受け、学校全体で医師の指示書を確認し細かく協議。マニュアルを作成し、全職員の研修を図る。

質問 AYA世代のうち20～39歳の方は制度の狭間で在宅医療の公的支援がない。先進市の取り組みを参考に独自支援を。

健康推進部長 必要性の認識を持ちつつ今後の県の動向を注視していく。



二本木公民館で実施された避難所開設訓練の様子



**都市計画・農業施策・
職場環境・水道事業**

大野 勉 議員

- ・ **質問** 狭山台区画整理の財政的効果は。
- ・ **総務部長** 市民税、固定資産税等を合計すると、年額9億円を上回る状況である。
- ・ **質問** 狭山台区画整理の問題点と課題は。
- ・ **副市長** バブル崩壊に伴う地価下落により、財源確保が問題となった。今後は、国庫補助金の確保など創意工夫に努める。
- ・ **質問** 狭山台土地区画整理事業の総括。
- ・ **市長** 事業の完成によって、良好な都市基盤の整備と活気に満ちたまちづくりの形成が図れたものとする。
- ・ **質問** 遊休農地の活用方法は。
- ・ **環境経済部長** 農業委員会が中心となり、農業の担い手を探す活動を行っているほか、農地中間管理事業により活用されている。
- ・ **質問** 職場内の環境整備として、インフ

オーマルグループの今後の課題は。

総務部長 現在のところ大きな課題はないが、その活動や人間関係が職務や職場環境に良い影響を与えることが望ましい。

質問 厳しい財政状況を市民に周知し、市民も納得するような施策を進める中で、水道料金の見直しも検討すべきでは。

上下水道部長 現行の水道料金での事業運営が困難と見込まれる場合には、上下水道審議会での十分な審議を経て、市民への周知にあたっては理解を頂けるよう努める。



狭山台土地区画整理
区域図と竣工記念モ
ニュメント



**プレコンセプション
(妊娠前) ケア・その他**

向口 文恵 議員

- ・ **質問** プレコンセプションケアとは妊娠前からケアを指す。政府では早い段階から、妊娠・出産の意識を持ち健康意識を向上させるプレコンセプションケアの体制整備を進めている。昨年度は出生数が初めて80万人を割ったが、当ケアへの取り組みは
- ・ 少子化対策への布石を打つことにも繋がる。
- ・ ①入間市の現状②学校現場の取り組み③チェックシートの活用④抗ミューラー管ホルモン(卵巣の卵子の数)検査等の助成を。
- ・ **健康推進部長** ①「育児体験学習・命の大切さ事業」などを実施②総合学習で性に関する指導や正しい性情報を学習。幅広く当ケアを取り入れた教育を実施する③国立成育医療研究センターのホームページのリンク等を張り繋げる。④先進事例を研究。

質問 高齢者の認知症やフレイル予防にeスポーツの活用を①当市の現状②地域で展開できる仕組みは。

福祉部長 ①介護予防事業として「大人の脳活」、やまゆり荘では指定管理者がeスポーツでの交流を実施。ゲーム機も常設。②来年度以降も多世代交流事業として実施。

質問 中央公園の野球場を夜間利用可能な施設に①近隣の状況②夜間利用の見解は。

健康推進部長 ①所沢市・飯能市・狭山市は夜間利用可能②野球場全体を含め検討。



やまゆり荘に常設している
高齢者向けeスポーツ関連設備



近隣土地区画整理事業 の不老川流域への影響

池田 司 議員

質問 1. (仮称) 三ヶ島工業団地周辺土地区画整理事業の概要、2.平成28年8月の台風9号による藤沢地区での被害状況、3.調整池について、4.所沢市との情報連携、5.災害ゴミの対応。

都市整備部長 1.入間市に隣接する所沢市林一丁目計画されている所沢市の都市計画事業。施行面積24.4ha、道路、公園などの公共施設を整備し、産業系土地利用を図る。3.雨水排水は計画道路に雨水管等を設置し、調整池によって流出抑制を図り、谷川へ放流する計画。谷川を境に、東と西で2つの排水区域を設定し、排水区域ごとに調整池を設置し、許容放流量以下で谷川へ排水する。4.経過報告やスケジュール等の情報連携を図っている。

危機管理監 2.軽傷2名、一部破損5軒、床上浸水166軒、床下浸水308軒。

環境経済部長 5.災害ゴミは市が主体で処理を行うのが基本。規模が大きい場合は他自治体への協力依頼や県の支援を受ける。被災状況により仮置場を開設し、ゴミを集積し、分別して処理をする。平成28年の台風9号の場合、入間市のみで処理ができたため、所沢市に協力要請は行っていない。

質問 近くても要請はできないか。

環境経済部長 処理できない場合のみ。



現在の三ヶ島工業団地の様子



教職員の働き方改革、 デザインマンホール他

古仲 リカ 議員

質問 全国的に教員採用試験の受験者数は減少しており、教職員の働き方改革は喫緊の課題である中で(1)入間市の教員不足の状況(2)現在の取組状況(3)今後の対策を伺う。

教育長 (1)令和4年4月に1名欠けた状態で始まり、後任決定まで教務主任が代行する時期が1ヶ月続いた(2)作業のオンライン実施や計画的な年次有給休暇の取得、ノー残業デーの確実な実施、ICTを活用した業務改善を積極的に推進(3)働く側の意識改革や現場の声を大切に、働き方改革を推進。

質問 デザインマンホール蓋の設置は、反響もよく「マンホールカード」配布も6日間で在庫切れと大変好評であるが、今後の展開と、新たな取り組みについて伺う。

上下水道部長 いるティー、ひばりデザ

インのマンホール蓋を合計12箇所に新設予定、マンホールグッズは、ストラップ、コースター、ミニチュアマンホールを販売。

質問 妊婦や子連れの方、手荷物の多い方へ配慮し、子どもから大人まで誰もが利用できる新たなデマンド交通の導入検討を。

都市整備部長 先進自治体の事例を参考に、地域公共交通協議会の意見も伺い検討。

質問 若者世代を取入れた自治会運営を。

市民生活部長 ボランティア証明を活用し連合区長会と連携、仕組みづくりを検討。



「いるティー」のマンホールカードおよび3種類の新しいマンホールグッズ



高額介護サービス費の 確実な払い戻しを

金澤 秀信 議員

質問 本人限度額を超えて介護サービスを利用した場合、市は郵送で案内書と払い戻し申請書を送付するが、未申請のまま2年間の申請時効超過の事例も少なくない。

申請漏れ解消に向け①現状は。②地域包括支援センターや介護事業所のケアマネージャーさんへ、担当する高齢者に高額介護サービス費が発生したことを通知し、申請の後押しをお願いできないか。③払い戻し申請書を見やすく平易な文書への見直しを。

健康推進部長 ①令和3年度時効超過額は約96万円。②今春の連絡会合で早期に協議③案内文書は即見直し、申請書は令和5年度末の介護保険システム変更時に見直す。

質問 行政改革・環境保護として、新技術を活用し、行政コストの削減と環境保護

の両立を目指すために①廃ペットボトルを活用したアスファルト改質剤による舗装道路の5倍の長寿命化を図る技術の導入に向けて、開発メーカーと協議を。②メーカーの全額負担で水力発電機を設置し、発電した売電収入を回収しながらその一部を自治体に還元する仕組みのマイクロ水力発電が全国で展開。入間市でも早期導入を。

都市整備部長 ①条件が合えば協議する。

上下水道部長 ②業者・県企業局と協議。

【その他】防犯カメラの早期設置を



マイクロ水力発電設置候補地となる
市内4か所の配水場の1つ扇町屋配水場



ナラ枯れ被害の拡大下の 加治丘陵の山林管理

双木 小百合 議員

質問 2019年9月埼玉県でのナラ枯れ被害が初確認された。加治丘陵においても枯損木が短期間で増加中。把握方法と現状は。

都市整備部長 昭和63年以来、植生調査を実施。平成23年3月「(仮称)加治丘陵さとやま自然公園植生管理計画」を策定し、毎年度「加治丘陵内植生調査」を実施しているが、ナラ枯れ被害の発生や記述は確認できない。遊歩道沿いの巨木老木や枯損木の状況は、加治丘陵さとやま巡視員による巡視、山林管理ボランティア団体による情報提供、職員による見回り、散策者からの通報など現場確認により随時把握している。

質問 自然に委ねる選択と防除戦略は。

都市整備部長 ナラ枯れの100%の防除法、事前防止は不可能な状況。予算、技術、効

果を踏まえ、遊歩道沿いの危険防止を最優先し、伐採により対処していくことが妥当。

質問 遊歩道沿いの対策と環境学習は。

都市整備部長 自然環境の保全や野生動物保護の所管と連携し、環境学習看板設置について研究する。

質問 山林管理の展望は。

都市整備部長 持続的な管理方法で巨木林育成、林相転換、伐採更新、自然遷移などの植生管理区分のバランスを整え、ナラ枯れ対策は専門家の意見を踏まえ研究する。



研鑽してきた熟練技術を持つ山林管理ボランティアによる枯損木の伐採作業



教育行政・公園行政・ 防犯体制

細田 智也 議員

質問 ①給食時の黙食の現状は。
②マスク着用の自由、しない自由がある。いじめや差別に繋がらないようマスクについての正しい理解を周知できないか。

教育長 ①「座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上、児童生徒間で会話を行うことは可能。」としている。しかし、条件を満たすのは、通常学級では難しい現状。②マスク着用する・しないは、ともに強制するものではないことを丁寧に説明していく。

質問 スラックスを導入している学校は。

教育長 市内11校中、10校がスラックスを導入。残り1校も導入に向けて検討。

質問 新光中央公園のトイレ改修計画の今後のスケジュールは。

都市整備部長 令和5年度に地元自治会と調整を行った後、トイレ等の改修工事設計業務委託を実施し、令和6年度より、トイレ等の改修工事に着手する予定。

質問 防犯体制と防犯対策について①犯罪発生の実績は。②活動者の今後の体制は。

市民生活部長 ①令和3年が753件に対して、令和4年が804件と増加。主に特殊詐欺と自転車盗難が増加している。

②活動者の士気を高められるよう関係団体等と連携し、工夫して実施していく。



新光中央公園のトイレ



学校統廃合・ 高齢者の補聴器補助

小出 亘 議員

質問 西武中と野田中の統廃合で令和7年度から西武中の生徒が野田中に通うことになるが、通学路が危険な部分が多い。対策は。

教育部長 道路拡幅などのための用地取得には時間がかかるため、歩道へのガードパイプやグリーンベルト、道路標識の設置、路面標示の施工など早期に対応できるものから着手する。暗い場所へ防犯灯を設置する。

質問 現在の敷地ではなく中間地点に近い土地への検討は行ったのか。

教育部長 西武中への統廃合を進める計画であり、他の場所への移転は考えておらず試算等も行っていない。

質問 加齢性難聴への独自補助を実施し

ている自治体が増えている。高齢者の社会参加を促進し、介護予防などのためにも入間市でも補聴器購入への助成制度を設けるべきでは。

福祉部長 制度が進んでいる自治体があることは認識している。進んでいるところを見ながら、どんな形ならできるか、できないかを含めて、やるとしたら国・県の支援を得て、制度化する必要もある。そうしたことも調査しながら、調査研究を進めたい。



中橋北の狭い市道の通学路



基地問題、 入間市平和都市宣言

佐藤 匡 議員

質問 航空機騒音・振動に対する苦情は。
企画部長 市に寄せられた苦情は2021年度57件、2022年度2月10日までで66件。多い順に騒音、飛行経路、飛行高度であった。

質問 騒音・振動が人体に与える影響は。
企画部長 環境基準を超える値を測定した日は、2021年度3日、2022年度1月までで1日。年間平均では環境基準を下回っている。苦情は具体的な健康被害とまではいたらないものがほとんどだった。

質問 騒音・振動の建築物への影響対策。
企画部長 住宅防音工事が完了した日から10年を経過したものについては、条件付きで機能復旧工事の制度が設けられている。

質問 反撃能力の入間市民への影響は。
市長 明らかになった時点で国からの説

明を求め、市議会や市民へお知らせする。

質問 重要土地等調査法の入間基地周辺での平和運動への影響は。

市長 基本方針には、勧告命令の対象にはならないと考えられると明記されている。質問のようなことはないとの防衛省見解。

質問 入間市平和都市宣言に基づき敵基地攻撃能力保有に反対を。

市長 宣言に基づき平和推進啓発事業を継続的に行っている。国による安全保障政策と認識し、反対表明を行うつもりはない。



フェンス越しの
航空自衛隊入間
基地



住宅リフォーム・公共交通・防犯対策強化を

安道 佳子 議員

質問 コロナ禍、原油高・物価高騰が続くなかで、経済波及効果のある住宅リフォーム助成制度の復活で、市内事業者の支援をすべきでは。

環境経済部長 入間では平成16年度から3年間住宅リフォーム制度を実施し約1億6千万円の経済波及効果があったが、現状実施している市の環境支援策や経産省・環境省・厚労省等の国の施策を広報し、市内事業者が参入できるよう周知に努める。

質問 入間市の公共交通にデマンド交通の参入について、可能性はあるのか。

都市整備部長 デマンド交通の実証運行を検証し、今後検討することになる。

質問 文化村や高倉・霞川団地地域の交通空白地域の住民要望は今後の計画に反映

されるのか。

都市整備部長 今後、公共交通計画見直しの中で検討していきたい。

質問 地域の防犯対策の強化が求められる状況にある。市の現状と対策について。

市民生活部長 これまで減少傾向にあった犯罪件数は令和3年753件から令和4年804件に増加した。自転車盗難や特殊詐欺等が増加傾向にある。防犯活動団体や狭山警察と入間市の連携強化を図る。防犯灯の設置や防犯カメラの計画的設置で防犯対策に努める。



ていーろーどのコミュニティバス



西武第一配水池の建替 博物館の常設展の更新

宮岡 治郎 議員

質問 西武地区への安定給水について。
(1)水道管の複数経路が予定されているが、その効果は。(2)西武第一配水池の立地、給水区域との高低差は。(3)新たに建替えた配水池の規模や材質、従来の施設との違いは。

上下水道部長 (1)水の融通が相互に可能となり、災害時等でも安定給水が可能。(2)標高は145m。自然流下方式で約70m下りる。減圧装置を通過させ配水している。(3)貯水容量は2,000㎡から1,325㎡とした。半分が地下の鉄筋コンクリート構造から、地上設置のステンレス構造へ。耐震性能を有する。

質問 入間市博物館について。(1)開館から28年余りの間の沿革は。常設展『入間の歴史』で、(2)「台地の上にくらしてきた入間の人々」、の意図は。(3)「昭和の入間」コ

ーナーで、住宅内部を再現している理由は。

教育長 (1)開館時は、自然・歴史・民俗・産業等を理解し郷土愛を深める、が目的。以来、展示・講座等、各種事業に活用し、市民の心の拠り所となる施設を目指した。

教育部長 (2)市の地理的な特徴を、土地利用の変遷をた

どり、歴史を連続的に理解出来る。(3)小学生の社会科の学習に対応。従来は企画展で期間限定だったが、市内外から見学の希望が多く常設化した。昨今は、昭和への関心が高く、集客力向上を図る。



昭和中期の台所と生活用品提供 博物館



新「西武第一配水池」提供 水道施設課



スマートフォンを活用し、横断歩道の安全を

末次 正 議員

質問 消防庁は全国の消防団にドローンを導入する方針を固めた。災害時にドローンを活用するメリットを問う。

危機管理監 俯瞰的な情報収集が可能で、被災状況に左右されにくく、救援者の二次災害リスクを大幅に軽減できる。

質問 4社とドローン活用の協定を締結しているが、被害が広範囲に及ぶ場合に備え、市としてもドローンを配備すべきでは。

危機管理監 被害が広域化した場合、県域を超えた協定も必要。近隣5市で構成する五市防災連絡会等で研究を進める。

質問 警察庁はスマートフォンの無線通信機能を利用して、横断歩道の状況を音声で通知し、歩行者を安全に誘導する高度化PICSの全国整備を開始した。高度化PICSの

効果を問う。

市民生活部長 高度化PICSは安全性向上のために有効と考えられる。現在、県内2箇所に設置して効果を検証中。

質問 県道195号仏子駅入口交差点は、交通量、横断歩道利用者も多い。本交差点に高度化PICSを設置すべきでは。

市民生活部長 本格導入が始まれば導入を検討する。

【その他】

市役所新庁舎には「書かない窓口」設置を



高度化PICSの設置が望まれる
県道195号富岡入間線仏子駅入口交差点

入間みらい議会

11月28日(土)に市内中学校の生徒24名が、中学生の視点で魅力あるまちを目指して、未来の住みよい入間市についての意見や要望などの提案を議場で行いました。議会終了後の生徒の感想として「普段できない貴重な体験となった」「入間市を知る良い機会になった」「市政に関して調べてみたい」「学校同士の交流の場になり、各学校ごとの違う意見を聞くことができた」等がありました。

入間みらい議会提案一覧

- 1 校庭にある部室の入り口は、ドアの老朽化により閉まりが悪く、また狭いので部室を新しくしてほしい。
- 2 学習機がガタガタ動いてしまうものが多く、学習の妨げになっているので新しくしてほしい。
- 3 地域との活動をしているとき、情報発信がしにくいなと感じたので、情報発信、意見の話し合い、コミュニケーションを取れる空間、機会を作るべき。
- 4 歩道にたばこがポイ捨てされていることが多い。たばこ専用のごみ箱を設置するというのはどうか。
- 5 中高生がネット犯罪に巻き込まれることについて、どのように考えているか。
- 6 パソコンへの依存、パソコンの弊害についての考えは。ノートアプリ使用、インターネットの利用方法、アンケートの定期的な実施の提案。
- 7 イベントの宣伝は「広報いるま」やSNS以外にどのようなものがあるか。
- 8 入間市の「良さ」をアピールする機会としてどのようなものがあるか。
- 9 著名人による情報発信の提案。
- 10 小中学生が地域の方とふれあいながらできる活動やボランティアの情報を多く流してほしい。
- 11 学校や公共施設の屋上に太陽光パネルや風力発電機を設置してはどうか。
- 12 小学生が中学校に入学する前に中学校に触れる機会を増やしてはどうか。
- 13 ペットの排せつ物を持ち帰るようにする看板を、児童や生徒が描くポスターにできないか。
- 14 全ての生徒や市民が安心して生活するためには、どのようにして暗い道を調べていただき、街灯を設置する流れになるのか。
- 15 バリアフリー化、トイレの洋式化を進めると共に改修工事の話が進んだ際に生徒の意見は取り上げていただけるのか。
- 16 タブレットでも紙の教科書でも、どちらでも選べる環境をつくることはできないか。
- 17 災害の際、土砂崩れや川の氾濫が起きそうな危険箇所の整備を行ってほしい。
- 18 ご高齢の方や、障がいをお持ちの方々が暮らしやすいバリアフリーに対応した施設、まちづくりを行ってほしい。SDGs 未来都市に選定された入間市がどの地域よりも率先してやる課題と思う。
- 19 授業の効率があがるよう特別教室にエアコンをつけてほしい。
- 20 バイクや車の走行時のマナーを呼び掛ける看板やポスターの設置を提案する。
- 21 市民会館についての提案
①取り壊すのではなく、耐震工事をして存続する。
②取り壊すのであれば、跡地を、高齢化が進んでいるので介護福祉施設などを建ててほしい。
③取り壊すのであれば文化交流の場を提供してほしい。
- 22 大容量で足で開ける形のサンタリーボックスの設置、小物置き・フックを設置することを提案する。
- 23 細い道でスピードを出して走る車が危ないので、スピード規則、スクールゾーン、ゾーン30を増やすことを提案する。
- 24 あいさつをして市を活性化させることについて何か考え、取り組みはあるか。
- 25 あいさつをすることのメリットを市民に伝えて市を活性化できないか。
地域であいさつ運動の実施を提案する。
- 26 中学生ならではの視点で、市に意見・質問を出すために目安箱を設置し、質問を集め、回答を広報などに掲載することはどうか。
- 27 霞川にたくさんのごみが投棄されているので、安全面を考慮し、中学生がゴミを拾う、中学生によるボランティア活動を提案する。
- 28 “おいしい狭山茶大好き条例”を知ってもらうためにポスター、新聞を活用することについて。
- 29 市内の学校に、狭山茶が出てくる蛇口や、給茶機を設置することを提案する。

議 会 人 事

定例会最終日（3月14日）に鈴木議長、内村副議長から辞職願が提出されたため、正副議長選挙を行い、新たに小島清人氏が議長に、古仲リカ氏が副議長に選出されました。また、常任委員会等の選出を行い、次のとおりとなりました。

就任あいさつ



議長
小島 清人氏



副議長
古仲 リカ氏

3月定例会において、議長ならびに副議長に就任いたしました。市民の皆様への負託に応えられるよう、公正で公平な議会運営に努めてまいります。市議会は市民生活と直結し、切り離しては成立しないと考えています。そのために、市民の暮らしに柔軟に対応できる市議会とするため、直面する行政課題に積極的に取り組んでまいります。市民の皆様により信頼される市議会を目指してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

| | | |
|-----------|---|----------------------------------|
| 議会運営委員会 | ◎宮岡 治郎 佐藤 匡 向口 文恵 吉田 賢一 鈴木 洋明 | ○長谷川 涉 末次 正 池島 司 内村 忠久 |
| 総務常任委員会 | ◎鈴木 洋明 安道 佳子 野口 哲次 宮岡 治郎 | ○池島 司 向口 文恵 横田 淳一 |
| 都市経済常任委員会 | ◎長谷川 涉 小出 亘 古仲 リカ | ○吉田 賢一 末次 正 紺野 博哉 |
| 福祉教育常任委員会 | ◎内村 忠久 佐藤 匡 金澤 秀信 小島 清人 | ○大野 勉 双木小百合 永澤美恵子 |
| 基地対策特別委員会 | ◎鈴木 洋明 小出 亘 向口 文恵 大野 勉 | ○双木小百合 末次 正 吉田 賢一 横田 淳一 |

| | | |
|-----------------------|---|----------------------------------|
| 公共施設最適化検討特別委員会 | ◎宮岡 治郎 安道 佳子 金澤 秀信 長谷川 涉 | ○内村 忠久 池島 司 永澤美恵子 古仲 リカ |
| 議会広報委員会 議会図書室運営委員会 | ◎宮岡 治郎 佐藤 匡 吉田 賢一 金澤 秀信 紺野 博哉 | ○双木小百合 池島 司 大野 勉 長谷川 涉 |
| 議会防災検討委員会 | 小出 亘 内村 忠久 紺野 博哉 | 末次 正 野口 哲次 |
| 埼玉西部消防組合議会議員 | 永澤美恵子 鈴木 洋明 | 内村 忠久 |
| 入間西部衛生組合議会議員 | 安道 佳子 長谷川 涉 横田 淳一 | 金澤 秀信 古仲 リカ 小島 清人 |
| 瑞穂斎場組合議会議員 | 向口 文恵 宮岡 治郎 | 双木小百合 |
| 埼玉県都市ボートレース企業団議会議員 | | 小島 清人 |

◎は委員長／○は副委員長



いるま市議会だより No.202

表紙／こいのぼり
(入間市文化創造アトリエ・
アミーゴにて)

撮影／市民カメラマン
深川 裕美さん

編集／議会広報委員会
◎宮岡 治郎 ○吉田 賢一
小出 亘 池島 司
大野 勉 双木小百合
細田 智也 金澤 秀信
古仲 リカ

発行／入間市議会

入間市議会



http://www.city.iruma.saitama.jp/gyosei_joho/83/index.html

6月定例会日程案

- 6月 1日 (木) 開会
- 6月 8日 (木) 総括質疑
- 6月 9日 (金) 総務常任委員会
- 6月12日 (月) 都市経済常任委員会
- 6月13日 (火) 福祉教育常任委員会
- 6月16日 (金) 一般質問
- 6月19日 (月) 一般質問
- 6月20日 (火) 一般質問
- 6月27日 (火) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、
議会事務局へお問い合わせください。

